

妊孕性温存療法を目的とした、卵巢組織凍結-IVMにおけるタイムラプスを用いたヒト卵子の動的解析に関する研究

1. 研究の対象

2018年7月1日から2023年3月31日までに妊孕性温存目的に当院で卵巢組織凍結-体外成熟培養を実施した方が対象となります。

2. 研究目的・方法

ヒト卵子においては核成熟時間、第1極体放出など、様々な過程を経て成熟しますが、タイムラプスによって取得されたデータにおける研究は少ないです。今回の研究では、これまで報告が乏しい卵巢組織凍結-体外成熟培養における卵子の動的変化とIVMから次の処置までのタイムラグに着目し、体外成熟培養後の成績に関与し得る要因を探ることを目的とします。

研究実施期間：研究実施許可日～2023年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2018年7月1日から2023年3月31日までに妊孕性温存目的に卵巢組織凍結-体外成熟培養を行った10症例に関するタイムラプスデータ及び診療録からの情報（年齢、原疾患、卵巢刺激方法、卵巢状況、胚・卵巢組織凍結内容）を用いて解析します。

4. 予期される有害事象に対する対応

本研究はデータ使用による後ろ向き研究なので対象患者様への有害事象は生じません。

5. データの二次使用に関して

倫理委員会の承認と研究科長の実施許可が得られた場合に限り、個人識別情報とリンクしない形でデータを二次利用する可能性があります。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：

秋田大学大学院医学系研究科産婦人科学講座 坂口 太一

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

秋田大学 大学院医学系研究科 医学専攻 機能展開医学系 産婦人科学講座

〒010-8543 秋田市本道1丁目1番1号 TEL:018-884-6163(代表)

-----以上